<table>
<thead>
<tr>
<th>開設科目名</th>
<th>科目：デッサン</th>
<th>担当教員：森野善次</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>開講期</td>
<td>後期</td>
<td>授業方法：実習</td>
</tr>
<tr>
<td>対象学生</td>
<td>2回生</td>
<td>科目番号：085460</td>
</tr>
</tbody>
</table>

授業の概要

「INPUT～OUTPUT」をテーマに二次元空間における知覚一観察、把握認識、体験等のINPUT（経験）から、鉛筆描写を基礎としたデッサン、又、色彩、立体造形などによるOUTPUT（表現）を実習形式で行い、その流れの中で各自のイメージを形成しその表現することの基礎を指導する。まずは眼と手を動かし、描いてみましょう！

学習・教育目標

①学生各自がモノの観察、洞察力を育ち、又自己の思考形態を客観的に捉え直す。
②情報の読みとりや学習から始まる各自のイメージ形成を認識し、それらを他者に伝達、表現するための色、形、素材による表現基礎技術を身につけます。

<table>
<thead>
<tr>
<th>対象</th>
<th>A</th>
<th>B</th>
<th>C</th>
<th>D</th>
<th>E</th>
<th>F</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>受講</td>
<td>A1</td>
<td>A2</td>
<td>A3</td>
<td>B1</td>
<td>B2</td>
<td>C1</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>C2</td>
<td>C3</td>
<td>C4</td>
<td>D1</td>
<td>D2</td>
<td>D3</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>E1</td>
<td>E2</td>
<td>F1</td>
<td>F2</td>
<td>F3</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

キーワード

イメージと思考、知覚と表現、ビジュアルアート、ビジュアデザイン、美術、デザイン

授業計画

第1回 | オリエンテーション、実習説明。
第2回 | 人体クロッキー、鉛筆デッサン絵の具（色彩）を用いた観察描写実習。
第3回 | 素描、デッサン基礎技術、色彩表現基礎等の演習。
第4回 | 作品講評。
第5回 | 視覚以外での知覚、体験、経験を基にした描写、造形表現実習。
第6回 | 「INPUT」での多角的考察からの演習。
第7回 | 「OUTPUT」での表現展開と可能性、不可能性からの演習。
第8回 | ケース発表、及び授業の総評。
第9回 | 作品講評。
第10回 | 作品講評。
第11回 | 「OUTPUT」での表現展開と可能性、不可能性からの演習。
第12回 | ケース発表、及び授業の総評。
第13回 | 作品講評。
第14回 | 作品講評。
第15回 | 作品講評。

教科書

特になし

参考書

特になし

成績評価方法

提出作品（教育目標の②等）、作曲・演奏（出席、課題の取り組み、教育目標上等）を総合的に評価する。

<table>
<thead>
<tr>
<th>評価項目</th>
<th>定期試験 (中間・期末試験)</th>
<th>小テスト・内部レポート</th>
<th>個々・授業</th>
<th>提出課題</th>
<th>学習態度・態度</th>
<th>出席</th>
<th>提出作品</th>
<th>合計</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>30%</td>
<td>%</td>
<td>20%</td>
<td>50%</td>
<td>100%</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

備考

A～Fは成績等級（専攻）の学習・教育目標である。具体的内容については成績等級のホームページをご覧ください。

制作、実習に使う資料、材料等は課題毎に事前に指示、連絡します。